



学校だより

～あったかハートでふれあおう！ みんな友だち 元気いっぱい 夢いっぱい～

令和3年：1月号

横浜市立山内小学校
校長 佐藤 正淳

新年 明けましておめでとうございます！

令和3年、新しい年を迎えました。皆様、明けましておめでとうございます。

校長職 2 年目（令和2年度）は、新型コロナウイルスとともにあります。新たに緊急事態宣言が出されるなど、その猛威は衰えません。そんな中でも、学校としてどんなことができ、どんなことができないのか。制限の中での最適値はどこにあるのか。子ども目線で、保護者目線で、市民目線で考え続けてきた日々でした。こんな時こそ、学校と保護者が子どもたちを支えるパートナーとして、想いと力と合わせる事が大切です。『共創（学校をともに創る）』『共育（未来を創る子どもたちをともに育む）』。今後、この流れは、より大きく強くなり、その熱量の大きさが学校の価値と比例すると思っています。

本年も、変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

『自分たちの学校をより良くする』～主体性と参画意識～

去る 12 月 23 日、各クラスの代表が集まって話し合う「代表委員会（児童会）」が行われました。今回は、PTA からお金（LINE スタンプとオンラインショップの売上）と、ふるさと納税を通していただいた学校への寄付の使い道を議論しました。

結論。私の拙い文章では伝わりきれないほど、素晴らしい話し合いとなりました。それぞれの意見を正面から受け止め、真剣に考えます。多面的に考えます。反対意見に対しては、打開する意見を重ねて説得を図ります。司会の児童運営委員の進行ぶりも見事でした。当日参加して下さった PTA 副会長さんと、取材に来ていた新聞記者さんからも次のような感想をいただきました。（読売子ども新聞と東京新聞が取材に来ていました）



Aさん (PTA副会長)

感動しました！ この話し合いの様子を LIVE 配信して、より多くの人に見てほしいと思ったくらいです。これだけ真剣に、自分たちの学校のことを考えていることが分かれば、寄付がもっと増えるんじゃないでしょうか。司会の子たちも凄いいました。最後のまとめ方など、大人でも悩みそうなのに、見事でした！



Bさん (新聞記者)

学校への寄付の使い道を、自分たちで考える学校なんて聞いたことがありません。素晴らしい取組ですね。今日、取材に来るのを楽しみにしていました。一人ひとりが、しっかりと考え、自分の言葉で、様々な視点から意見を言う姿を見て、山内小学校という自分の通う学校を大切にしていることが伝わってきました！

様々な意見から、最終的に決まったのは「飼育動物」の購入です。永らく愛されてきたウサギのクッキーが亡くなったことも背景にあるのかもしれませんが、具体的にどんな動物にするのかはこれからの議論となりますが、『動物にとって環境が良くない』など、話し合いから出てきた施設面に対する意見も考慮しながら決めていきます。

さて、こういった取組、そして、このような子どもたちの様子をお読みになって、皆さんはどのようにお感じになりましたか。

私は、今回のありがたいご寄付が、新しい形での教育活動につながったこと。そして、子どもたちの真摯な姿が、その方々への返礼になったのではないかと感じました。さらに、子どもたちにとっても、『自分の通う学校を見つめ直す契機』『学校を愛する気持ち、誇りに思う気持ちの醸成』につながったのではないかと…。改めまして、数々のご厚意に対し、心より感謝申し上げます。

最後に（寄付の有無を横に置き）子どもたちに伝えました。「来年もやるよ！」「今日から、こんなものがあれば…と、学校を見つめなおしなさい！」と。山内小学校は未来を創る子どもたちを育みます。未来への投資！ 教育が国を創る！ 本校への変わらぬご支援をお願いいたします。

～みんなで考える！ お金の使い道～
山内あったかサポート

みんなで考えよう！ 今、学校に必要なもの。
PTA からお金（LINE スタンプなどの売上）と学校への寄付のお金の使い道をみんなで考えます。
自分たちの学校を、自分たちの手でよりよいものに。
※各クラスで話し合い、最終的には 12 月 23 日（水）の代表委員会で購入ものを決定します。

学校サポート金(総額)

192,530 円

12/23現在

- 1** 山内小学校 000 ケアリーフショップ

22,924 円

0000
76 点
- 2** 山内小学校 000 LINEスタンプ みんなのケアリーフ

9,606 円

0000
184 セット
- 3** 学校へのご寄付 ふるさと納税「教育活動の充実」

160,000 円

0000
3人